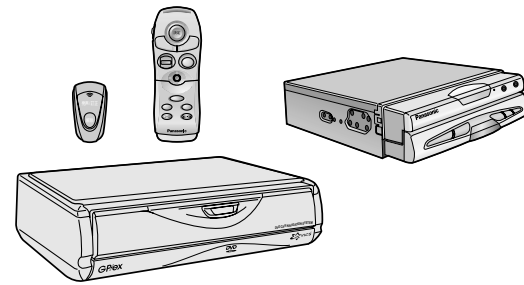


Panasonic



7型ワイドVGAインダッシュテレビ付
DVDカーナビゲーションシステム

取扱説明書 (基本編)

品番 **CN-DV7700SD**

2 ナビゲーションの 基本操作

カーナビ
を
使いこなす



このたびは、パナソニック カーナビゲーションシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用前に、本書の「安全にお使いいただくために」と「使用上のお願い」を必ずお読みください。

保証書別添付

はじめに

準備

地図の
紹介

ルートを
作る

ルート
確認

ルート
案内中

登録する

VICS

ボイス
基本

ユーザー
設定

テレビ
を使う

必要な
ときに

本書の読みかた

説明書は、目的の内容がすぐ見つかるように分冊になっています。
この説明書と、別冊の「かんたんガイド」、「ナビゲーションの応用操作」
をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

構成

記載内容



かんたんガイド

初めてお使いになるときや、
すぐに使いたいとき
お読みください。

こんなことができます
使う前の準備
地図の見かたと操作
ルートを作る
メニュー一覧表
パスワード一覧表



ナビゲーションの基本操作 (基本編) (本書)

カーナビゲーションを
使いこなしたいときや、
テレビを見たいとき
お読みください。

右ページをご参照ください。



ナビゲーションの応用操作 (応用編)

さらにカーナビゲーションを
使いこなしたいとき
お読みください。

ボイスコントロール(音声操作)を使う
スマートメディアを使う
モバイルコミュニケーションユニットを
接続して使う
ETC 車載器を接続して使う



設置と接続

本製品の取り付け・配線のとき
お読みください。

安全のため、取り付けと配線は、
専門技術者にご依頼ください。

取り付けかた
配線のしかた
取り付け・配線の確認

もくじ

まず

確認と準備を

もくじ	4
安全にお使いいただくために	6
使用上のお願い	11
準備する	12
確認する	14
地図の紹介	20
地図を切り替える	24
地図画面の見かた	30

すぐ

使いたいとき

行き先までのルートを作るには	32
自宅までのルートを作る	34
行き先を探す	36
ルートを詳細に作る	50
ルートを確認する(全ルート図)	56
ルート探索について	60
ルート案内中に	62
ルートを登録する	70
走行軌跡を登録する	72
場所(ポイント)を登録する	74
文字入力のしかた	82

もっと

使いこなしたいとき

情報を見る(VICSについて)	84
ボイスコントロール(音声操作)の基本	96
利用に応じた設定に変える(ユーザー設定)	98
テレビを見る	112
組み合わせる	116
便利な機能	120
いろいろな設定と調整	122

もし

必要なとき

ナビゲーションシステムとは	126
故障かな!?	132
お手入れ・ディスクの取り扱い	138
VICS についてのお問い合わせ	139
地図データベースについて	142
さくいん	148
メニュー一覧表	152
仕様	154
アフターサービスについて	裏表紙

はじめに

準備

地図の
紹介

ルート
を作る

ルート
確認

ルート
案内中

登録する

VICS

ボイス
基本

ユーザー
設定

テレビ
を使う

必要な
ときに

ルートを作る

行き先までのルートを作るには

行き先までのルートを作るには . . . 32

自宅までのルートを作る

自宅を登録する 34

自宅へ帰る 34

行き先を探す

住所で 36

ジャンルで 36

ガイド情報で 38

ハイウェイマップで 38

都市高マップで 40

名称 (個人名・施設名) で 40

電話番号で 42

郵便番号で 42

緯度・経度で 42

以前に検索した地図から

(オートマップメモリー) 44

登録ポイントから 44

周辺の施設で探す 46

ワンタッチ検索で 48

ルートを詳細に作る

経由地を

設定・修正・順路設定する 50

通りたい道路を設定する 52

出発地・目的地を設定する 52

帰り道を設定する 52

おすすめコースを使って

(自動順路探索で) 54

ルートの情報を見る

ルートを確認する (全ルート図)

全ルート図を表示する 56

別ルートを探る 56

ルート情報を表示する 56

スクロールする 58

ルートのシミュレーションをする 58

目的地付近の地図を確認する 58

ルート探索について

細街路探索/横付け探索/

高速道優先/一般道優先 60

インテリジェントルート探索 61

ルート案内中に

抜け道表示/抜け道探索 62

VICS 経路探索/曜日時間規制探索 63

一般道路での音声案内 64

都市内高速・都市間高速での音声案内 65

新しいルートと

前のルートと比較する 66

目的地方向表示 66

ルート案内中の VICS 案内 67

もう一度ルート探索したいとき

(再探索) 68

立ち寄りたいた経由地を追加する 68

別道路切り替え 68

途中で渋滞があったら (迂回探索) 69

案内中のルートを見る

(ルートスクロール) 69

ルートに戻る (オートリルート) 69

ルートを登録する

ルートを登録する (登録ルート)

ルートを登録する 70

登録ルート呼び出す 70

登録ルートの名称を変更する 70

登録ルートを消去する 70

走行軌跡を登録する (軌跡メモリー)

走行軌跡を登録する 72

軌跡メモリーを呼び出す 72

軌跡メモリーの名称を変更する 72

軌跡メモリーを消去する 72

場所を登録する (登録ポイント)

覚えておきたい場所を登録する 74

ワンタッチ探索地点を登録する 74

登録ポイント呼び出す 76

登録ポイントの情報を見る 76

登録ポイントを消去する

(1 地点消去) 78

登録ポイントを全て消去する

(全地点消去) 78

登録ポイントを編集する 80

文字入力のしかた 82

VICS 情報を見る

情報を見る (VICS)

VICS について 84

FM 文字多重放送について 85

FM 多重で VICS 情報を受信すると 85

ビーコンで VICS 情報を受信すると 85

地図上に表示される交通情報 86

ハイウェイマップ表示中に

渋滞情報を受信すると 88

ハイウェイサテライトマップ表示中に

渋滞情報を受信すると 88

緊急メッセージ/

注意警戒情報を受信すると 88

VICS 情報をもう一度見る 89

交通情報を利用してルート探索する

(DRGS) 89

メニュー画面から VICS 情報を見る 90

FM 文字多重情報を

自動的に表示させる 90

VICS 情報の内容を確認する 92

走行する道路に合わせて

VICS 情報を表示する 92

好みのメディアの

VICS 情報を表示する 92

VICS 情報を画面から消去する 92

FM 多重チューナーの受信状態を見る 94

受信する放送局を選ぶ 94

受信状態によって

周波数を自動で切り替える 94

D-GPS 機能を使う 94

FM 文字多重情報を見る 95

ボイスコントロールの基本

ボイスコントロールで操作する 96

テレビを使う

テレビを見る

電源を入れる 112

モニターの位置や角度を調整する 112

TV モードに切り替える 114

チャンネルを記憶させる 114

手動で選局する 114

組み合わせる

テレビやビデオの音声を FM ラジオで聞く

(FM トランスミッター) 116

車載用カメラの映像を見る 118

車載用ビデオやビデオカメラの

映像を見る 118

後席用 (2 台目) のモニターで楽しむ 118

便利な機能

画面の比率を切り替える 120

テレビ放送の音声を切り替える 120

いろいろな設定と調整

画質調整 122

ユーザー設定/時計設定 124

はじめに

準備

地図の紹介

ルートを作る

ルート確認

ルート案内中

登録する

VICS

ボイス基本

ユーザー設定

テレビを使う

必要なときに

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

実際の交通規制に従って走行する



ルート案内中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。交通事故やけがの原因になります。

運転や視界の妨げになる場所に 絶対に取り付けない



禁止

前方・後方の視界の妨げになる場所、運転に支障をきたす場所(シフトレバーやブレーキペダル付近など)への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付け・アース配線等に、 保安部品を絶対に使わない



禁止

保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。



警告

故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障(画像が映らない、音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口(別紙)」にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

DC12Vアース車で使用する



本機はDC12Vアース車専用です。DC24V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、 バッテリーの端子を必ずはずす



バッテリーの端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口(別紙)」にご依頼ください。

コード類は、運転や乗り降りの 妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げ になる場所に、絶対に取り付けない



禁止

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

車のパイプ類・タンク・電気配線 などの位置を確認して取り付ける



車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災や事故の原因になります。

指定に従って設置・配線する




説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

はじめに


安全にお使いいただくために

警告


はずれたり・落下しないように、しっかり取り付ける

 ねじがゆるんでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。


雷が鳴りだしたら、アンテナやプラグに触らない

 感電の原因になります。
禁止


電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

 事故の原因になります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。


リモコンを放置しない

 運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。
禁止

安全のため、必ずサイドブレーキコードを接続して使用する


 説明に従って正しく設置・配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因になります。

地図ディスクは、オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しない


 大音量によって、耳に障害を与えたり、スピーカーを破損する原因になります。
禁止

注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する


 配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

コードを破損しない


 断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。
禁止

注意


必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。


本機の通風孔や放熱板をふさがない

 内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。
禁止


水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない

 発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。
禁止


適正な音量で使用する

 車外や周囲の音が聴こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。


機器内部に異物を入れない

 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。
禁止


振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

 傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。
禁止


アンテナは、落下しないようにしっかり取り付ける

 ねじがゆるんでいたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。


アンテナは、はみ出さないように取り付ける

 アンテナのエレメントが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない

 手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に、乳幼児にご注意ください。
禁止

エンジンを止めた状態で長時間使用しない

 バッテリー消費などにより、エンジンがかからなくなることがあります。
禁止

⚠ 注意

電池は正しく使う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

- 指定の電池以外は使用しない。
- ⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。
- 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使用しない。
- 使いきった電池は、すぐに交換する。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
- 電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ビニール袋に入れる、テープなどを巻く)
- 著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
- (窓を開けきった車や車のトランクの中、直射日光の当たるところ、ヒーターの近くなど)

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

電池の液もれが発生した場合の処置について

電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
もれた液が身体や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
万一、目に入ったときは、こすらずにすぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用する場合、適用対象になりません。

お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的などのノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録ポイント・登録ルート・軌跡メモリーなど)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は、万一に備えてバックアップ(控え)をとっておくことをお奨めします。(☞ 応用編「スマートメディアを使う」参照)

必ず、サイドブレーキコードを接続してご使用ください。(安全機能)

走行中にはテレビ放送の受信画像が表示されず、音声のみの受信となります。また、停止状態でもサイドブレーキを引かないと映像が映りません。

他の機器と接続する場合は

接続した機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください。

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、感電やけが・故障の原因になる場合があります。

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイに衝撃を与えたり、押ししたりしないでください。
液晶ディスプレイにはあまり触れないでください。
特殊加工されているので、触れると指紋が目立ちます。
高温または低温になると液晶ディスプレイが化学変化を起こし、故障の原因になります。
(使用温度範囲：-20 ~ 80)
低温になると、映像が出なくなったり・出るのが遅くなったりすることがあります。
また、映像の動きに違和感が出たり・画質が劣化したりすることがあります。
(使用可能温度：0 ~ 40)

結露について

寒いときヒーターをつけるなどで、急に車内の温度が上がったとき、本機内部の光学系レンズや地図ディスクに露(水滴)を生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、正常な動作をしない場合があります。

結露の状況にもよりますが、地図ディスクを取り出して約1時間ほど放置しておけば、結露が取り除かれ正常に動作します。地図ディスクに付いた露は、柔らかい布で拭いてください。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」にご相談ください。

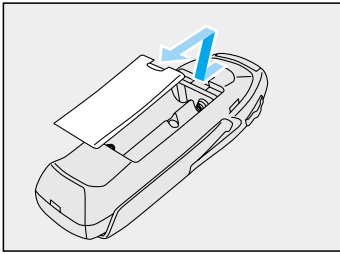
はじめに

安全にお使いいただくために
使用上のお願い

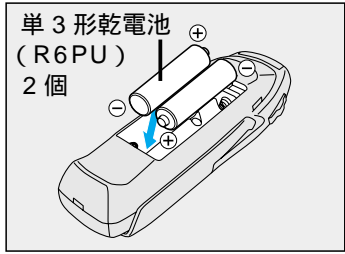
準備する

リモコンに電池を入れる

ふたを開ける



電池を入れ、ふたを閉める

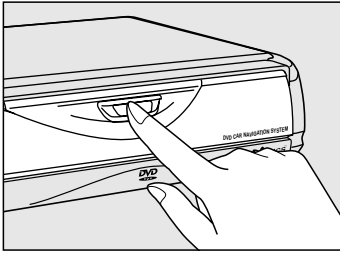


単3形乾電池 (R6PU) 2個

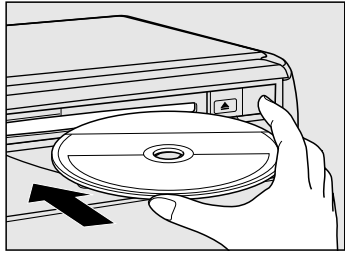
お願い 電池の⊕⊖表示をよく確かめて入れてください。電池は早めに交換してください。電池寿命：通常の使用状態で約5ヶ月(マンガン乾電池/常温時)

地図ディスクを入れる

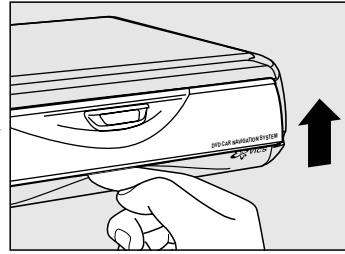
車のエンジンをかけ、ふたを開ける



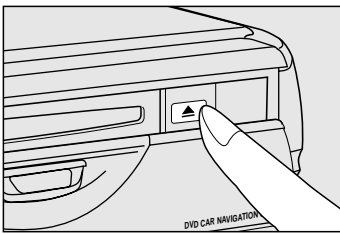
ディスクを入れる (印刷面を上)



ふたを閉める



取り出すときは



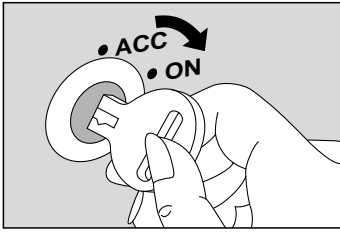
ディスクを入れる前に、すでにディスクが入っていないか確認してください。

- ① ふたを開け
- ② ▲ EJECT ボタンを押し
- ③ ディスクを取り出し
- ④ ふたを閉める


ふたは必ず閉めてください。(ホコリ防止)

電源を入れる

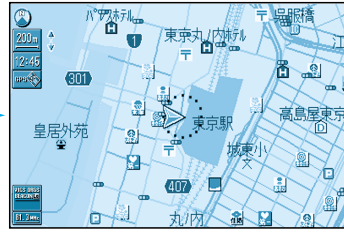
車のエンジンをかけるまたはACCに入れる



リモコンの **決定** を押す (警告表示画面)



モニターを立ち上げてください。(P112ページ)



現在地画面が表示されます。

お知らせ できるだけオープニング画面が終了するまで、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。初めて電源を入れた時、自車位置と異なる地図画面を表示しますが、GPSの信号を受信すると自車位置付近の地図に切り替わります。

警告

運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

実際の交通規制に従って
走行する



ルート案内中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。交通事故やけがの原因になります。

注意

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

お知らせ

イグニッションスイッチOFFの状態では、ディスクの出し入れはできません。イグニッションスイッチを長時間ONまたはACCにしたままでエンジンをかけない場合、バッテリーがあがる原因になります。付属のパナソニック専用地図ディスクは本機専用です。(本機以外ではご使用できません。) 付属の地図ディスク以外は挿入しないでください。